

神奈川県立厚木清南高等学校 平成 27 年度不祥事ゼロプログラム年度末検証について

1 趣旨の確認

- (1) 不祥事の未然防止を図る。
- (2) 不祥事防止の観点から、課題を抽出し、課題ごとの目標設定及び目標設定のための行動計画を定める。
- (3) 職員全員参加でこのプログラムを策定し、継続的に実施し、検証を行う。

2 課題と目標（達成すべき内容）の検証

	課 題	目 標（達成すべき内容）	検 証	
			1	2
1	不適正経理処理の再発防止	○適正な私費の徴収・執行を行う。		○
2	個人情報等管理・情報セキュリティ対策	○USB メモリ等記憶媒体の適正な取扱い。 ○個人情報の発送時、配布時の複数人でのチェック。 ○携帯電話への児童・生徒等の個人情報の登録状況の確認。 ○その他、個人情報流出を未然に防止する。情報セキュリティの対策を行う。	○	○
3	セクハラ、わいせつ行為	○セクハラ、わいせつ行為を未然に防止する。		○
4	体罰、不適切指導	○生徒の人権に配慮し、体罰等が起こらないようにする。		○
5	業務執行体制	○業務執行体制を整え、不祥事を防止する。（成績処理、進路関係等）	○	○
6	交通事故防止 酒酔い、酒気帯び運転防止	○交通事故を未然に防止する。 ○酒酔い運転、酒気帯び運転を未然に防止する。		○
7	公務外非行	○公務外の不祥事を防止する。		○
8	履修指導	○必履修漏れ、単位数不足等々を未然に防止する。		○
9	教育相談	○一人ひとりの生徒に応じた適切な支援をする。	○	○

（検証欄：○＝実施、1：第1回検証8月、2：第2回検証2月）

3 行動計画

(1) 「事故防止会議」体制

- ① 運営会議の構成員を以て事故防止会議とする。
- ② 事故防止会議の事務局は学校管理運営グループとする。
- ③ 事故防止会議は月1回のペースで開催する。
- ④ 事故防止会議は月1回のペースで全職員対象の不祥事防止会議を行う。
- ⑤ 上記④以外に、事故防止会議は必要に応じて、不祥事防止会議を随時行う。

(2) 課題についての取り組み

① 課題1～7

「教育委員会・不祥事ゼロ運動」に係る職員啓発資料等を活用して、全職員対象の不祥事防止会議を中心に取り組むことができた。

② 課題8「履修指導」…課程ごとに履修指導研修会（8/28）を実施した。

③ 課題9「教育相談」…教育相談研修会を実施した。

④ 12月11日（金）に外部講師による不祥事防止研修会を実施した。

⑤ 9月25日、11月20日（金）に外部講師による参加型人権研修会を実施した。

(3) 事故防止会議・不祥事防止会議の活動状況について

4月	事故防止会議 4/10→不祥事防止会議（全 4/24・定 4/23・通 4/17） ○個人情報の取扱い。
5月	事故防止会議 5/8→不祥事防止会議（全 5/26・定 5/15・通 5/15） ○個人情報の取扱い。
6月	事故防止会議 6/5→不祥事防止会議（全 6/26・定 6/12・通 6/26） ○ミスが発生した時の対応。
7月	事故防止会議 7/3→不祥事防止会議（全 7/31・定 7/16・通 7/17） ○標的型攻撃の正しい理解とその対処。
8月	事故防止会議 8/3
9月	事故防止会議 8/28→不祥事防止会議（全 9/11・定 9/16・通 9/11） 外部講師による三課程合同人権研修会(定通)9/25 『身近な人権：外国につながる学生たちのアイデンティティとマイノリティの人権について考える』
10月	事故防止会議 9/29→不祥事防止会議（全 10/23・定 10/22・通 10/29） ○個人情報の漏えいの未然防止。
11月	事故防止会議 10/30→不祥事防止会議（全 11/27・定 11/20・通 11/20） 外部講師による三課程合同人権研修会(全)11/20 『学校全体として人権教育に取り組む～身近に潜むネット人権問題～』
12月	事故防止会議 12/4→不祥事防止会議（全 12/18・定 12/18・通 12/11） 外部講師による三課程合同不祥事防止職員研修会 12/11 『個人情報の管理及び調査書等作成上の事故防止など』 ○子どもたちの命を守ろう。 ○年末年始に向けて注意したいこと。
1月	事故防止会議 1/8→不祥事防止会議（全 1/29・定 1/22・通 1/15） ○最近の不祥事事例から学ぶ。
2月	不祥事防止会議（全 2/19・定 2/5・通 2/26） ○気を引き締める
3月	不祥事防止会議（全 3/23・定 3/18・通 3/18） ○年度末年度始めの会計事務。

#### 4 検証

設定した目標に沿って、プログラムを実行し、次に示す時期に検証を行う。検証の結果、達成度が低い場合は対応策を検討し、達成度があがるよう、再度、行動計画を設定し直す。

- (1) 第1回検証・・・8月
- (2) 第2回検証・・・2月

#### 5 実施結果

平成27年度の不祥事ゼロプログラムは、計画のとおり実施した。職員会議に先立って、全職員で確認することにより情報の共有ができ、結果的には該当する事故・不祥事等を防止することができたが、入学者選抜での事故を防ぐことができなかった。

#### 6 次年度プログラムの作成

平成27年度の実施結果を踏まえ、情報の共有を行動の柱として、平成28年度のプログラム作成を行い、特に入学者選抜における事故防止については、「あってはならないこと。」という意識を持って取り組みたい。

#### 7 事務局

プログラムの策定及び実行の具体的手続きについては、事故防止会議がこれを行う。  
決裁となったゼロプログラムの計画と報告は、本校ホームページに掲載する。